

救援物資はもういらない!?

被災地では「救援物資」より「お金」が必要

救援物資を巡る善意のすれ違い、善意の届け方について、中越地震（平成16年）を経験した新潟県長岡市などから、次のような内容が提言されています。

シリーズ防災
No.20

「被災地あて」の救援物資は原則として送らない

①なぜなら、被災地は混乱している

親類縁者や知人などなら何ら問題ありませんが、不特定多数の被災者へ物資を送っても、修羅場と化した現場（特に窓口の行政）では、受け取りきれず、結局届けられません。

②被災地は一時かつ大量の物資を受け取れない

頼んでもいないのに「困った方々へどうぞ」と、昼夜を問わず中身も分からない

「だれかが必要だろう」という身勝手な理由で、使用をためらうような古着や生モノ、壊れたおもちゃ、病院の薬の残りなどの物資を送るのは、もはや善意とは言えません。

③送る側は被災地の状況を理解できない

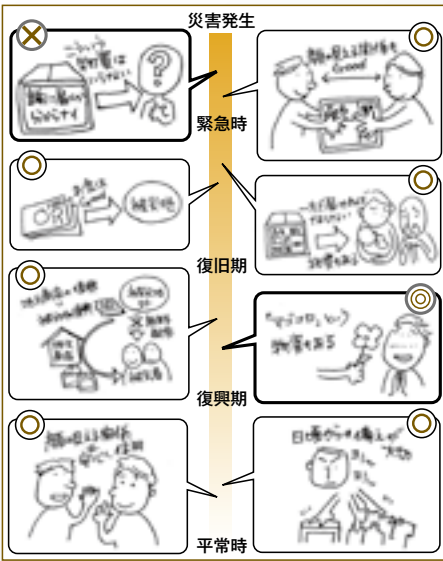
「救援物資」が大量に届けられ、被災地に「無料」で配布される時期が長くなればなるほど、地元でモノが売れにくくなります。

④被災地はこれまで「いい」と言えなかった

「いらない」と言いたくない。中には「人の善意を何と心得るか」と怒る人もいます。

⑤無料配布によって被災地内の商品が売れなくなる

「問い合わせ先」市役所危機管理課 2421111（内線3552）



これは、はつきり「いらない」と言いたくない。中には「人の善意を何と心得るか」と怒る人もいます。

うが、これまでの中途半端な対応のままでは、次の被災地も苦しめることになり得ます。善意があるなら別の支援を考えましょう。

⑥被災地では「お金」が必要

大規模災害時には、公的な支援金、民間融資など様々なお金にまつわるしくみがあります。中でも、みなさんからの「義援金」は、被災者にとってたいへん重要な意味を持ちます。



平成21年秋季全国火災予防運動

11月9日～15日までの1週間、全国一斉に行われます！

平成21年度 全国統一防火標語

消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及をはかり、火災の発生を防止し、高齢者などを中心とする死者の発生を減らし、住民の皆さんの財産の損失を防ぐことを目的に実施されます。

期間中に、消防署では車両広報や防火パレードなど各種行事を計画していますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

また、これを機会に火災予防について考えてみてはいかがでしょうか。



11月9日は「119番の日」

火災や事故が発生したとき、皆さんの適切な通報が被害を軽減します。

通報時には事故の発生した場所、けが人の数、事故の状況を落ち着いて伝えるようにしましょう。

また、電話の近くに緊急時の連絡先「火災・救急は119（局番なし）」を書いておきましょう。

図書館情報

図書館情報

大洲市立図書館 ☎ 59-4111
 大洲市立図書館長浜分館 ☎ 52-1121
 大洲市立図書館肱川分館 ☎ 34-2319
 大洲市立図書館河辺分館 ☎ 39-2111

大洲市立図書館 11月生涯学習講座 古文書解読講座「大津賀氏系図一巻」

講師 芳我一章先生 期日 11月25日(水)
 時間 午前9時45分～午前11時45分
 場所 大洲市立図書館コミュニティホール

オススメ新着図書

—インターネットを利用して、図書の検索が
各家庭や携帯電話からでもできます。—

大洲市公式
ホームページ → [大洲市立図書館](#) → [蔵書検索](#)

夏みかん酢っぱしいまさら純潔など

鈴木しづ子著

いにしへのてぶりの屠蘇をくみにけり 激動の戦後を生き、
 消息を絶った伝説の女性俳人・鈴木しづ子。彼女がこの世に
 遺した句集「春雷」と「指環」を一冊にまとめる。

引き出しの中のラブレター

新堂冬樹著

ラジオパーソナリティの真生のもとへ届いた、一通の手紙。
 それは絶縁し、仲直りをする前に他界した父が彼女に宛てて
 書いた手紙だった…。2009年10月公開映画のノベライズ。

ぐりとぐらのおまじない (児童書)

なかがわりえこさく

「ちちんぷいの ぱっ」「ちちんぷいの ぱくっ」「ちちんぷいの
 ぴん」おまじないを唱えたら、気分爽快、元気いっぱい。困っ
 たこともたちまち解決！リズムカルな文に愛らしい絵が添えられ
 た、言葉遊びの絵本。

新着情報

【一般図書】

やさしすぎる君へ
 僕は、字が読めない。
 はじめて講師を頼まれたら読む本
 就活のギモン解決BOOK
 はじめての麦わら帽子
 夢をかなえるサッカーノート
 神様のカルテ
 外国人墓地を見て死ぬ
 フリーター、家を買う。
 身の上話

てんつく著
 小菅宏著
 大谷由里子著
 菊地信一著
 本上まなみ著
 中村俊輔著
 夏川草介著
 西村京太郎著
 有川浩著
 佐藤正午著

墨染の鎧 上戸
 ホームズまるわかり事典

【児童書】

かわいい魔女のゆうれい！！
 どんどんいけいけゆうき号！
 しんかんくんひっこしする
 1001ぴきの虫をさがせ！
 まめうしくんとものまね～
 いのちのもりで

火坂雅志著
 平賀三郎編著

藤真知子作
 あんずゆき文
 のぶみさく
 テリ・ガウアー絵
 あきやまただし作・絵
 やなせたかし作・絵

※このほかにもたくさんの本が入っています。(随時配架しています。)

2009年11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

＝休館日 開館時間 9:30～18:00
 ※29日は館内図書整理日のため休館します。

リサイクル資料を提供します。
 図書館では、不用となった図書を次
 のとおり市内の公共施設・団体や市民



【2009読書週間ポスター】

「思わず夢中になりました」
 10月27日から11月9日は、第63回秋
 の読書週間です。秋の夜長に、読書の
 世界で夢中になってみませんか。

の皆さんに提供しますので、ぜひご利
 用ください。
 ○リサイクル資料
 一般図書・児童図書約1400冊
 ※今回はアンパンマンほか児童書多数
 ○実施期間
 10月29日(木)～11月8日(日)
 (10月31日(土)・11月2日(月)・4日
 (水)を除く)
 ○実施場所
 大洲市立図書館コミュニティホール
 詳しくは、図書館へお問い合わせく
 ださい。
 ☎ 4111

まちのわだい



▲みんなで作った凧を手に

るいひめ村第1期生の恩返し!

～第8回 通学合宿「るりひめ村」～

8月30日(日)
～9月4日(金)

この通学合宿は白滝フロンティア会主催による通学合宿で、白滝小と柴小の5年生と6年生児童11人が、保護者から離れて公民館で共同生活をしながら「生きる力」を身につけることを最大の目的としています。今年度は、心配された児童への新型インフルエンザの影響もなく、新企画満載で5泊6日の全日程を乗り越えることができました。

白滝地域からは「もらい風呂」や「ホームステイ」などの協力をいただきながら、キャンプ、梨狩り、エコバックづくり、凧づくり、草花のアレンジメントなどのいろいろな分野にもチャレンジしました。特に2年連続で支援をいただいた愛媛大学の学生4人に加えて、本合宿の第1期生8人によるボランティア支援は関係者の長年の夢でもあり、進化する通学合宿の形が見えてきたようです。この第1期生からの「7年前にお世話になったるりひめ村に何とか恩返しをしたい!」という熱いメッセージは、大きな宝物となりました。

8月31日(月)
～9月4日(金)

みんなでお泊り

～中野小学校通学合宿～



▲作った巣箱と一緒に記念写真

中野小学校の5・6年生児童13人が参加し、第6回中野ふれあいスクール通学合宿が8月31日～9月4日の5日間行なわれました。

参加した児童は肱川公民館に宿泊して、自分たちで掃除、洗濯、食事の用意などを行いながら合宿生活を送りました。夜は鹿野川荘や小藪温泉で心もからだもゆったり。

地域の人たちの協力のもと「陽春院」での座禅体験や、「正山満天のへや」での星空観測、今年は、「シリーズ大洲の野鳥」で毎月野鳥の紹介をしてくださっている瀧野隆志さんに教わりながら「巣箱づくり」にも挑戦しました。

親元を離れての生活を通して子どもたちは共助の心を養うことができ、また仲間たちとのかけがえのない思い出をつくることができました。



▲木立を抜け泉ヶ峠へ

自然と親しみながら

～第21回わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道～

9/13(日)

爽やかな秋晴れのもと第21回わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道が開催され、全国から集まった龍馬ファンやウォーキングファンらが、河辺町に残る龍馬の足跡を辿りました。

河辺ふるさと公園に集まった参加者285人は、堀江透さん(茨城県・64歳)と安部弘道さん(大分県・63歳)の力強い完全踏破宣言に励まされ出立。龍馬役の仲村元氣さん(新居浜市・19歳・Aコース)と平田博志さん(西予市・62歳・Bコース)を先頭に、元気よく坂本龍馬宿泊の地「泉ヶ峠」を目指しました。

当日は天候に恵まれ、気温も少し上がったせいか、途中の難所「横通り」や「日除」の登り坂には苦戦しましたが、参加者のほとんどが心地よい汗を流しながらゴールを迎えることができました。

来年も完全踏破目指してがんばりましょう!

まちのわだい



▲大きなサツマイモを次々と

大きないも ぼくが掘ったよ

～観光いも園 開園～

9/17(木)

上須戒松久保団地の観光いも園が開園し、上須戒小学校児童18人と上須戒保育所年長児5人が一足先にいも掘りを体験しました。

子ども達はそれぞれ軍手をはめ、スコップを手にいも掘りに挑戦。大きなサツマイモを次々に掘り出しました。お土産用の袋はあっという間にいっぱいになり、みんな笑顔で重そうに袋を抱えていました。いも園には蒸しいもが用意してあり、掘り出したいもの味見をした子ども達は「おいしい」「甘い」と次々に手を伸ばしていました。

やった！ ぞっかいぞ！

9/23(水)

～第22回溪流釣り大会～

秋の大型連休最終日、こども専用の釣り場や炭火焼コーナーの新設などで一段とパワーアップした溪流釣り大会が開催され、早朝より集まった参加者らは自然と親しみながら釣果を競い合いました。

河辺ふるさとの宿に集まった132人の参加者は、露内進支部長（大洲市観光協会河辺支部）の「はじめ！」の掛け声とともに一斉に狙った釣り場へ。それぞれに工夫を凝らしたエサや仕掛けでマスとアメノウオに挑戦。じっくりと大物を狙う人、のんびりと釣り糸を垂れる人、家族で和気あいあいと楽しむ人など、いろいろなタイプの釣り人たちは、秋の一日、溪流のせせらぎを聞きながら魚との駆け引きを楽しみました。



▲どーだ！

安全運転で 事故ナシ

～交通茶屋～

9/30(水)



▲笑顔で梨を受け取るドライバー

秋の交通安全週間最終日、平野地区の国道で交通茶屋が行われました。交通安全協会女性部などのメンバーが、啓発チラシや眠気さましグッズなどとともに「事故ナシ」にかけた豊水梨をドライバーに手渡しして安全運転を呼びかけました。この日用意された梨入りグッズは200セット。ドライバーは、笑顔で「事故なし」を受け取っていました。